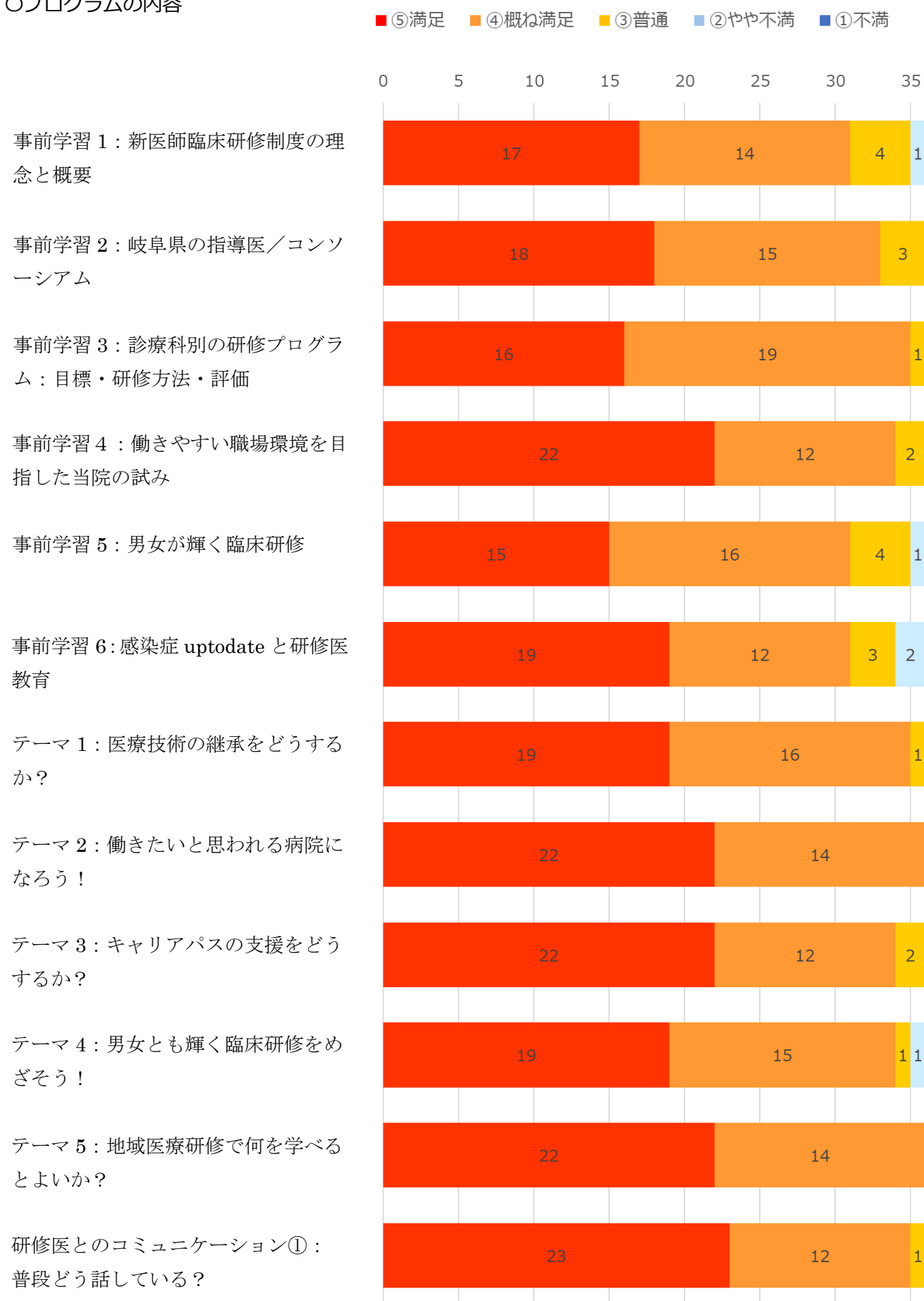
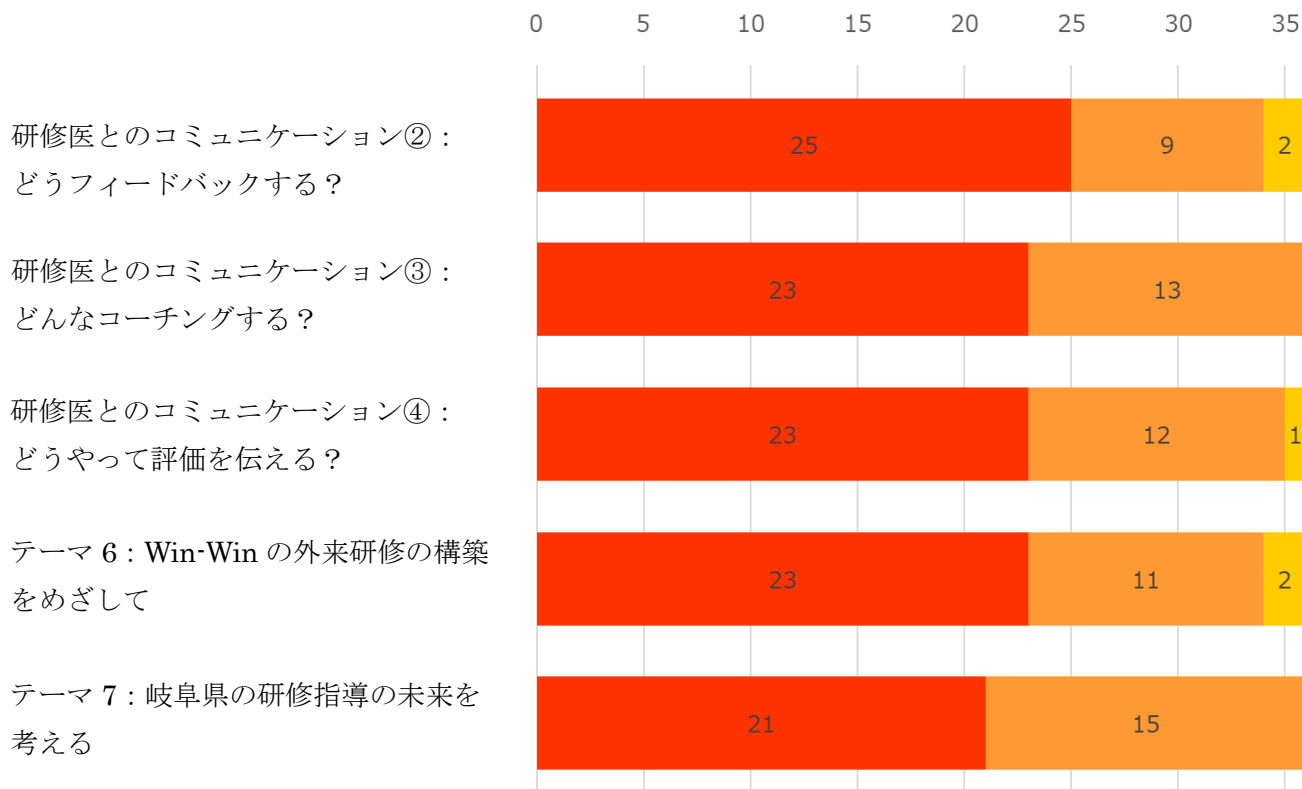


## 第26回 臨床研修指導医講習会 2日目 ふりかえり (R5.12.15)

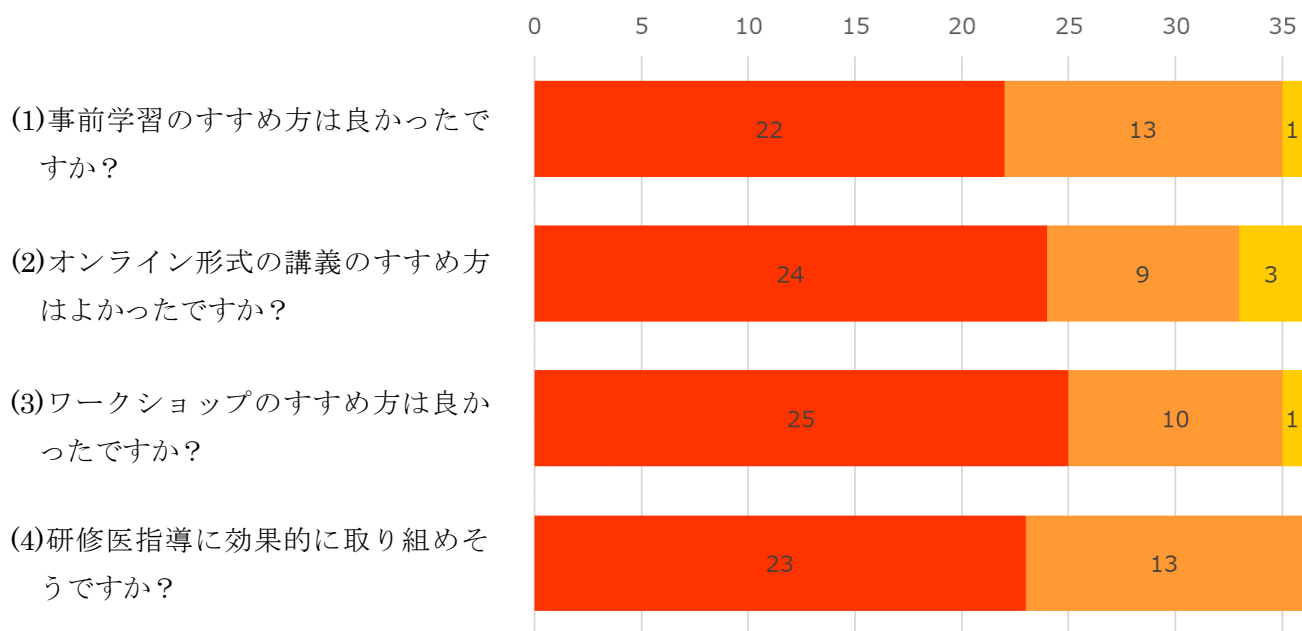
### ○プログラムの内容





#### ○今回の講習会の全般的な評価

■ ⑤非常にそう思う ■ ④そう思う ■ ③どちらともいえない ■ ②あまり思わない ■ ①思わない



## ○2 日目に新しく学んだこと、出来たこと

- ・対面だったので、昨日より楽しく話ができ、自分も指導するという意識をちゃんと持とうと思った
- ・フィードバック、コーチングの考え方
- ・マニュアルを読もうと思った
- ・研修医への声かけのコツが分かった
- ・外来診療が必須になったこと
- ・コーチングのステップ
- ・研修医との関係性を一方的なものにしないことで自分も成長できるということ
- ・1分でも5分でも研修医にフィードバックを、時間を割く大切さが分かった
- ・ロールプレイングが楽しくできた
- ・研修医に対する接し方について考え方が変わった
- ・ロールプレイを通して研修医との具体的な接し方を学んだ
- ・研修医への関心やフィードバックの重要性、コーチングに関して確認できた
- ・コミュニケーションの取り方、その重要性
- ・コンソーシアムの役割を知った
- ・1日1分でもよいのでフィードバックすると良いということ
- ・フィードバックの具体的な方法
- ・対面でディスカッションできることで、皆様の色々な意見が聞けて学べた
- ・コーチングにも指導と育成と違いがあることを再認識した
- ・R2C2 など指導スキルなど学ぶことができ、研修医だけでなく専攻医指導に役立つ内容を学ぶことができた
- ・コーチングに具体的な方法を学び、各ディスカッションも活発にでき、楽しみながらの時間を過ごせた
- ・ロールプレイを通じた実際の指導法（コーチングとティーチングの違いなど）
- ・フィードバックの時間を決めて行うこと
- ・コーチング、フィードバック法について
- ・研修医へのフィードバックやコーチングの方法
- ・傾聴、承認など、普段しっかり出来ていないことを反省し、コーチングスキルを学べた
- ・R2C2 モデルなどのコーチングの仕方について、今後の指導で実践したい
- ・外来研修が必修化していることを知らなかったため、地域医療研修に丸投げせずに当院で研修を行うためには、研修体制の抜本的な見直しが必要だと思った

## ○今回の講習会で良かった点

- ・ディスカッションが盛んだった
- ・少しずつ話し合う場があって良かった
- ・グループでの討論がたくさん行えたこと
- ・肩肘張らずにできること
- ・改めて指導とは、と考えさせられた
- ・研修医指導プログラムの存在を知った

- ・自分の研修医時代を振り返って今後の身の振り方を考えるきっかけになった
- ・研修医の指導の基本を学べた
- ・グループワークの時間を多く取ることで、さまざまな意見を聞くことができ、ロールプレイも実際にやってみると研修医との関わり方が難しいと思うこともあった
- ・活発な意見交換ができたと思う
- ・多くの先生と指導の仕方についてディスカッションできた
- ・グループ学習は有用であると感じた
- ・他の病院の先生とお話しするいい機会となった
- ・研修医が増える病院にしようと思いが新たになった
- ・研修システムについて理解でき研修医指導についてわかった
- ・研修医の将来について考える時間を持てたこと
- ・グループでいろいろ議論が盛り上がった
- ・研修医を育てることが、岐阜全体にも影響するというのに驚いた
- ・研修医のニーズを考えるきっかけになった
- ・事前学習
- ・研修医指導に対する取り組みを多面的に再評価できた
- ・研修医指導のテクニックを学べた
- ・グループワークが緊張したが、より深く考察できた
- ・ハイブリッド開催がよかった
- ・研修医への指導方法や最新のカリキュラムのアップデートができたこと
- ・ロールプレイとセッションを繰り返すことで、知識が使える技術になったと思う
- ・オンライン
- ・多施設のさまざまな診療科の色々な世代の先生方の現状も知りながら講習ができたのでよかった
- ・日々の診療で指導に悩んでいたが、同じように悩んでいる先生が多く、情報を共有できてよかった
- ・ロールプレイを通して研修医への対応を学べた
- ・指導する中で、知らないことや出来てないことを知ることが出来たこと
- ・パソコンのやり方がスムーズだった
- ・ロールプレイやディスカッションなどの実践的な時間が長くて良かった
- ・初日をオンラインで実施することができたこと
- ・研修内容の質は非常に高く、大変勉強になった

#### ○今回の講習会で芳しくなかった点

- ・仕方ないことだが長い
- ・Zoom では自分の考えをうまく表現できないと感じた
- ・病院全体として問題のある研修医を触れ得ざるものと扱ってパスさせてきたことに対する答えを出すことが出来なかった
- ・抽象的な質問に困ることがあった
- ・質問の意図が理解しにくいことがあった
- ・2日目はパソコン画面のシェアが難しかった

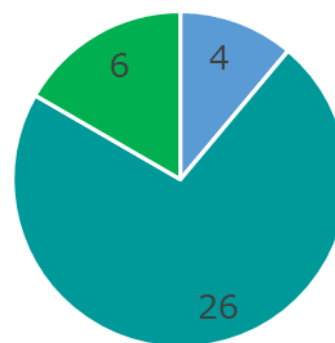
- ・休憩時間が少し短くタイトだった
- ・オンラインが少し疲れた
- ・日本人は発表者を決めてもらった方がいい
- ・グループ内でのディスカッションは十分だったが、他グループとの幅広い討論もしてみたかった
- ・実際の研修医、三年目の先生の声を知りたい
- ・グループワークの時間が足りないこともあった
- ・オンラインでの自身の不手際や通信環境が上手くいかなかった
- ・少し時間がタイトで長い
- ・抽象的なテーマの際、ディスカッションがなかなか進まなかったこともあった
- ・コンソーシアムの実務担当者や、医師偏在について具体的にディスカッションする場があるとよかった

○その他、今回の講習会全般を通して感じたこと、気づいたこと、次回取り入れてほしいテーマなど

- ・ドロップアウトしそうな研修医との関わり方
- ・触れ得ざるものの適切な扱い方
- ・働き方改革と研修医指導
- ・対応が難しい研修医へのアプローチの仕方など
- ・実際の研修医の生の意見が聞きたい
- ・接し方の難しい研修医の対応について
- ・教育がどうしても extra の業務となっているためそこに時間・人員を割くことができる体制作り(臨床、研究などの業務分担含め)に期待したい
- ・マンパワーの限界をどう解消すればよいのか
- ・研修中に妊娠出産した場合のサポートについて
- ・アンケートが記名制なので書きにくい
- ・現在の内容で申し分ないと思う
- ・研修医の叱り方について
- ・研修医に積極的に関わりたいと思った
- ・実際の研修医の意見をもう少し聞きたい
- ・difficult な研修医に対するアプローチ法を学べるとよい
- ・グループの先生方の世代がそれほど離れておらず、話しやすかった
- ・内科、外科系の診療科が主体の講習会であり、マイナーではあまり関係ないかなと感じてしまうことが多かった
- ・平日の方がママさんなど受講しやすいので有り難かったが、平日開催が良い方も休日開催が良い方もいるのでニーズにあわせて開催出来るとよいかと思った
- ・利用可能な勤務制度（時短常勤など）やサービス
- ・地域枠入学の研修医と自治医大出身研修医の関わりを増やした方がよい

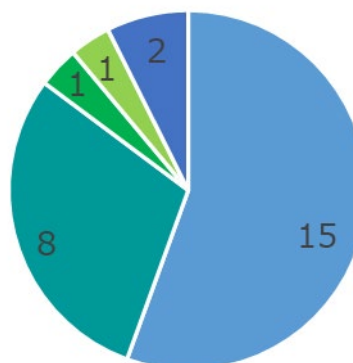
○今後の講習会の開催方式について

- 2日ともオンライン形式 4
- ハイブリッド（オンラインと対面）形式 26
- 2日とも対面形式 6



○今後の講習会の開催場所について

- 岐阜大学医学部構内（医学部棟） 15
- ぎふメディアコスモス 8
- 岐阜県内各地 1
- 交通のアクセスが良いところ 1
- どこでもよい 2



○今後の講習会の開催日程について

- 2日とも平日 30
- 土曜・日曜（・祝日） 2
- 1日平日、1日休日（土曜・日曜・祝日） 4

